学校だより　　御前崎市立白羽小学校

かがやく浜の子

令和8年度 10 月号⑥

令和８年度　重点目標　「自分から　チャレンジ」

【文責　校長】

自分の命を自分で守る！ ～火災避難訓練と家庭での危機管理～

先週、本校では御前崎消防署の皆様をお迎えし、火災を想定した避難訓練を実施しました。子どもたちはハンカチを口に当て、真剣な表情で運動場へと避難しました。避難完了後には、消防署の皆様のご指導のもと、命を守るための貴重な体験学習を行いました。

今回の訓練で最も大切にしたのは、「自分の命は自分で守る。災害に応じて正しい行動をする。」ということです。避難の約束「お・は・し・も」の徹底は変わりませんが、地震や津波の時と何が違うのか、どうしてその行動をとるべきなのかをしっかりと考えました。



ハンカチを鼻と口に当てて避難



３．４年生「煙体験」



5.6 年生「消火器訓練」

少し前に、緊急地震速報が流れたことがありました。（後に気象庁の誤報であるということがわかりました）ちょうどその時、学校では、掃除の時間で、子供たちはそれぞれ自分の掃除分担場所にいました。「緊急地震速報」が流れたその瞬間、その場で自分の身を守る行動をとった子、戸惑いながらも掃除を続けていた子、周りの大人の指示を待っている子など、様々でした。必ず子供の近くに職員がいるわけではない学校生活、「自分の身を自分で守るための行動」を一人一人が行うことが本当に大切です。今後も訓練でしっかりと身に付けていきたいと思います。

また、今回は火災の訓練でしたが、私たちが備えるべき危機は、地震や台風、不審者、登下校時の交通事故など多岐にわたります。学校でも様々な場面を想定した安全指導を行っていますが、子どもたちが一人の時に自分の命を守るためには、ご家庭での日頃からの話し合いと備え（危機管理意識）が何よりも強い後ろ盾になります。

ぜひこの機会に、お子様と一緒に確認し、命を守る約束を共有してみてください。

- 「もし家で火事や地震が起きたら、どこから逃げて、どこで待ち合わせるか」
- 「登下校中に大きな地震が起きたら、どこに身を隠すか（ブロック塀から離れるなど）」
- 「ハンカチやティッシュは、毎日ポケットに入っているか」

学校と家庭が手を取り合い、子どもたちの危機管理意識をさらに高めていきたいと考えております。ご協力をよろしくお願いいたします。

日々の学校の様子は HP に掲載されています。ご覧ください。https://shirosho.jp/

災害別対応一覧

		登校前	在校時	下校
地震	震度５弱以上	休校	ただちに教育活動を中止 一次避難（運動場）	引き渡し
	南海トラフ地震臨時情報「調査中」	通常		
	南海トラフ地震臨時情報「巨大地震注意」	通常		
	南海トラフ地震臨時情報「巨大地震警戒」	休校	ただちに教育活動を中止	引き渡し
火災	火災	安全が確認されるまで自宅待機	一次避難（運動場） 二次避難（総合運動場）	引き渡し
津波	津波注意報	通常		沿岸部の児童は職員引率下校
	津波警報 大津波警報	休校	教育活動を中止 二次避難（地震避難後、北校舎3階）	警報が解除され、安全を確認した上で下校又は引き渡し
暴風雨	①レベル５特別警報 ②レベル４危険警報 ③暴風警報＋レベル３ 大雨警報 ④暴風警報＋レベル３ 土砂災害警報 ⑤安全な登校や生活に不安がある場合	午前6：30に警報が出ている場合は自宅待機 午前9：30前に解除されたら登校 午前9：30に継続：休校	安全が確認されるまで学校で待機	警報が解除され、安全を確認した上で下校 解除されない場合は引き渡し
原子力災害	警戒事態 施設敷地緊急事態 全面救急事態	休校	ただちに教育活動を中止 一次避難（屋内） 二次避難（浜松市） 三次避難（長野県）	引き渡し

※詳細は、防災対策危機管理マニュアルをご覧ください。
URL：https://shirosho.jp/granddesign.html